

観光をテーマに地図を使ってみよう！

## 文化でつながるアメリカ合衆国を旅しよう

玉川大学教育学部 教授 寺本 潔

観光をテーマに地図を使ってみよう！

6年生の3学期に単元「日本とつながりの深い国々」がある。アメリカ合衆国や中国、韓国、ブラジルなど児童に1か国選ばせて、おもに文化面を調べて発表するという学習だ。この単元でも地図帳を有効に活用することができる。『楽しく学ぶ小学生の地図帳』（以下、地図帳）でも外国のようすは「世界一周 写真館」のコーナーの写真番号の地点が地図の中に明記されているため、教師が「この写真は、ここで撮られたものです」と示唆すればリアリティも増す。その中でもアメリカ合衆国1か国を詳細に取り上げているp.63～64を例に、地図帳の活用を紹介したい。

### ① 授業のつかみは、ホットドッグで

小学生は食べ物に興味を示す。そこで、まずホットドッグのイラストを探させるとよい。地図帳p.64の中央、セントルイスの近くに示されている。諸説あるようだが、1880年代にドイツからの移民がこの街で焼ソーセージを細長いパンにはさんで販売したのがルーツのようだ。挽肉とパン（小麦やとうもろこし粉が原料）、ケチャップ、チーズ、ピクルスなどをさむ食べ方は、手軽で合理的。食材からはアメリカ中西部の農産物が連想できる。形が犬のダックスフンドに似ていたため、その名が付いたといわれている。次に、「セントルイス市の脇を流れる川の名前は？」と問いかけてみよう。セントルイスを起点に人さし指でミシシッピ川をさかのぼれば、ミネソタ州で「大草原の小さな家」のイラストが、南に下ると、「トム・ソーヤの冒険」や「ミシシッピ川の外輪船」と「ジャズ」「聖者の行進」などが目に入る（図1）。

「ほかにはどんな食べ物が見つかるかな？」と視点をほかの州に広げると「とうもろこし」「だ

いず」「オレンジ」「肉牛」も見つかり、これらの背景にアメリカ合衆国の食文化や経済も見え隠れしてくる。しかも、これらの食材は、5年でも学習したように日本人の食を支えている。

### ② 何とんでもメジャーリーグ

スポーツも文化である。地図帳には、アメリカ合衆国発祥の野球を代表するメジャーリーグ合計30球団（ただし、カナダのトロントのチームも含む）が球場の絵記号で示されている。田中将大選手や大谷翔平選手が、リーグ戦で各都市を回って

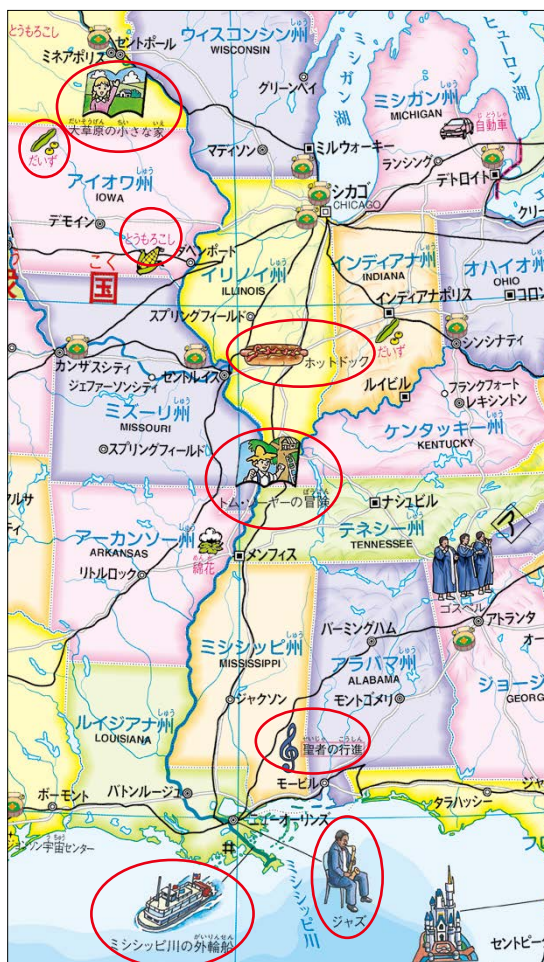


図1 『楽しく学ぶ小学生の地図帳』 p.64

さまざまな地図活用の広場

世界の国をクローズアップ

・「ノース(NORTH)」, 「サウス(SOUTH)」, 「ニュー(NEW)」, のつく州名をさがしてみよう。それぞれ、どんな意味があるでしょう。  
 ・日本はアメリカ合衆国から何を輸入しているか。71ページ、75ページも参考にして調べてみましょう。

戦い続けているよ  
 うすを想像させた  
 い。球場は、人口  
 50万人以上の都市

図2 『楽しく学ぶ小学生の地図帳』 p.63

(回, 回) に多く立地しており, 児童にそれらの都市名を分担して黒板に列記させるだけで, アメリカ理解の雰囲気ができあがる。メジャーリーグ観戦ツアーの旅行パンフレットも閲覧させると旅気分が盛り上がるだろう。

次に地図帳を時間をかけて見つめさせれば, 「カリフォルニア」や「オクラホマ」「ケンタッキー」「ジョージア」「デラウェア」などといった州名が果物やダンス, フライドチキン, 缶コーヒーのCMで聞いたことがある地名だと気づき始める。「世界の国をクローズアップ」のコーナーで, NORTHやSOUTH, NEWのつく州名を探す活動にも取り組ませたい(図2)。アメリカ合衆国の地名には, 外来文化として日本人がすでに知っている地名が多くみられる。

3 大陸横断鉄道に乗ってみよう

p.64の大西洋に「同じ緯度においた同じ縮尺の日本」が印刷されている。これを使いアラスカ州やハワイ州は除くが, アメリカ合衆国の東西の距離をみてみよう。まず, 北海道の知床岬と鹿児島県の佐多岬に指をあて掌ではかり, それでアメリカ合衆国の東西をはかると, およそ二つ分, 東西の距離は北海道から鹿児島を往復したのと同じぐらいだとわかり, 児童はその広さを実感するだろう。そのうえで「大陸横断鉄道をたどってサンフランシスコからニューヨークまで4000kmを旅してみよう」と呼びかけよう(図3)。「線路がくねくね曲がっているところは, 山がち。まっすぐな



図3 『楽しく学ぶ小学生の地図帳』 p.63

所は平原なんだよ」とヒントを出すと車窓からの風景が想像できよう。ロッキー山脈エリアや中西部の大平原(p.61のアメリカ合衆国の地勢図でも可), ミシガン湖・エリー湖, フィラデルフィアの大都市景観等, 変化に富んだ地形や街が想像できる。世界遺産のグランドキャニオンや自由の女神に立ち寄ってもよい。アメリカ合衆国を理解させるためには, 「広い国土と豊かな自然」がキーワードになる。「広さ」がアメリカ国民の暮らしや文化に反映し, 豊かな自然資源(木材, 鉱物, 水産物)が経済力を支えているからだ。巻末p.75に掲載の「世界の国別統計」を調べれば, 「日本との貿易」欄の数字がケタ違いに多く, 各種機械や穀物, 航空機をアメリカ合衆国から輸入している事実も判明する。

◆観光授業の玉手箱



- 1 食べ物の産物記号から入り, メジャーリーグのある都市名も扱えばアメリカ文化を楽しむ観光が『地図帳』で想像できる。
- 2 大陸横断鉄道に乗って, 変化に富む広大なアメリカ合衆国を理解させ, 巻末統計で主要な貿易相手国である事実を押さえる。